KUMON

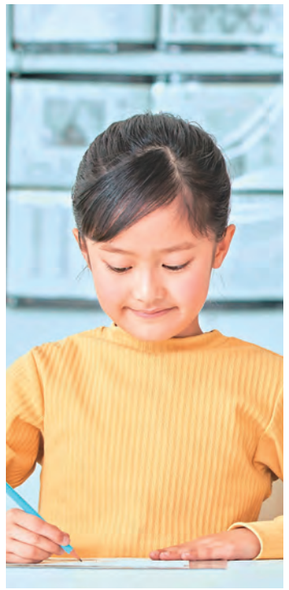
会社案内

KUMON

教育が、世界を変える。

ＫＵＭＯＮは、

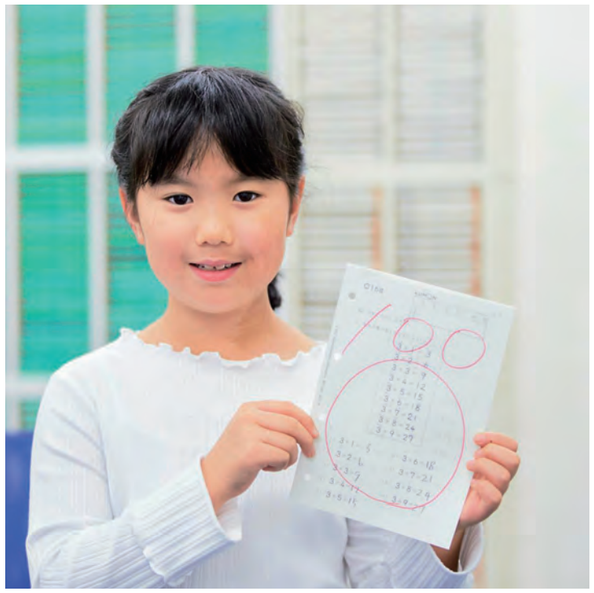
そう信じています。



自ら学ぶ力は、

生きる力になる。

一人ひとりが持つ可能性を最大限に伸ばすこと。
それが、KUMONの使命です。
課題に立ち向かい、自分の力で解決する経験は、今後の人生の宝物になるはずです。



学びたい気持ちは、

世界共通。

国境も文化も越えて受け入れられているＫＵＭＯＮ。それは、個人別の学習法だから。
学びたい、という気持ちに、もっと応えたい。
いま、ＫＵＭＯＮは60を超える国と地域に広がっています。

学ぶ喜びを、

すべての人へ。

学びを通じて、自らの可能性を広げる喜び。それは、子どもだけのものではありません。
0歳～2歳の親子のためのBaby Kumonから高齢者の学びを応援する学習療法まで。
ＫＵＭＯＮは世代を超えて学びを育んでいます。

CONTENTS

Concept

ＫＵＭＯＮの原点 2
ＫＵＭＯＮの育む力 4
ＫＵＭＯＮの特長〈ちょうどの学習〉 6
ＫＵＭＯＮの特長〈スモール・ステップ〉 8
ＫＵＭＯＮの特長〈指導者の存在〉 10
ＫＵＭＯＮのあゆみ 12
ＫＵＭＯＮの世界への広がり 14
ＫＵＭＯＮの世代の広がり 16
ＫＵＭＯＮの活動の広がり 18

Overview

沿革 19
トップメッセージ 20
会社概要 22

KUMONの

原点

「学ぶ力」は、やがて、「生きる力」へ。
一組の親子の絆から生まれた、KUMON。

ひとりの父親の、わが子への愛情からはじまった公文式教育法。
半世紀以上が経ったいまも、その思想は脈々と受け継がれ、
多くの子どもたちの「学ぶ力」を育み続けています。

1954年 公文公が息子のために手づくりした教材。公文式教材の原型。

大切なのは、子どもの主体性を引き出す指導

きっかけは、一人の少年の算数の答案用紙でした。小学2年生の毅（たけし）少年のポケットから出てきた答案用紙を見た母親が、当時高校の数学教師をしていた夫、公文公（くもん とおる）に相談したのです。公文公はかねてから「子どもには大人が想像する以上の潜在的能力がある。子どもの可能性をできる限り引き出すことこそが教育者の務めである」と考えていました。そのためには何よりも、子どもの主体性を引き出すことが大切であると感じていたのです。

自己肯定感が「学ぶ力」を育てる

ルーズリーフに書かれた、手づくりの計算問題。それが今日の公文式教材の原型です。毅少年は、父親の考案した教材による毎日30分の自習でみるみる力をつけ、小学6年生の頃には微分・積分を学習できるまでにいたりました。そこで、今度は近所の子どもたちを自宅に集め同じような方法で指導したところ、どの子の学力も目に見えて上がりはじめたのです。「この方法で、一人でも多くの子どもたちの可能性を伸ばしてあげたい」。1958年、公文公は大阪に事務局を開設し、

そこで、わが子のために教材をつくるときも、本人が毎日無理なく続けることができ、かつ着実にレベルアップできるよう工夫に工夫を重ねました。高校で教鞭をとっていた公文公は、計算力がないために多くの高校生が数学の勉強で苦しんでいることを知っていたので、目標を計算力の養成に絞り込み、自学自習形式で学べる教材をつくりました。人から教わるのではなく、自分の力で解き進むことによってこそ本物の学力が身につくことを、自らの教育体験によって実感していたからです。

もっと多くの算数教室を開くことを決意しました。「自学自習で高校教材」を目標に掲げ、学年を越えたところを自習させることによって、一人ひとりの能力を伸ばす。公文式教育法の本格的な普及のはじまりでした。

子どもは本来、自分から伸びようとする力を秘めています。読み・書き・計算に取り組む過程で「やればできる」という自己肯定感を育み、「自ら学ぶ力」を育てていく。子どもたちが将来自己実現を成しとげ、どんな時代でも夢や目標に向かってチャレンジしていける力、すなわち「生きる力」を育てること。それがKUMONが考える教育です。父親のわが子への愛情から生まれたKUMONは、人から人へ、街から街へと広がり、今では言葉や文化・歴史の壁を越え、世界の国々に広がり続けています。

草創期の教室風景

公文　公（1914—1995）
1914年　高知県に生まれる。大阪帝国大学理学部数学科卒業後、高知県立海南中学校教諭として赴任。
1955年　大阪府守口市で公文式教材を使った初めての算数教室を開設。
1968年　33年間の教職生活にピリオドを打ち、大阪数学研究会の業務に専念。
1970年　有限会社大阪数学研究会代表取締役会長に就任。
1983年　株式会社公文教育研究会代表取締役会長に就任。
主な著書：『公文式算数の秘密』（廣済堂出版）、『やってみよう』（くもん出版）、
『悪いのは子どもではない』（くもん出版）など多数。

公文　毅（1946—1997）
1946年　奈良県に生まれる。
1972年　神戸大学経済学部卒業後、野村證券株式会社勤務を経て、有限会社公文数学研究会入社。
1974年　同研究会・福岡事務局初代事務局長に就任。
1978年　有限会社公文数学研究会代表取締役社長に就任。
1983年　株式会社公文教育研究会代表取締役社長に就任。
主な著書：対話集『どんな人間がこの時代を生きぬくか』（河出書房新社）。

KUMONの

育む力

子どもたちに「生きる力」を。
学びの根幹となる基礎学力を育てます。

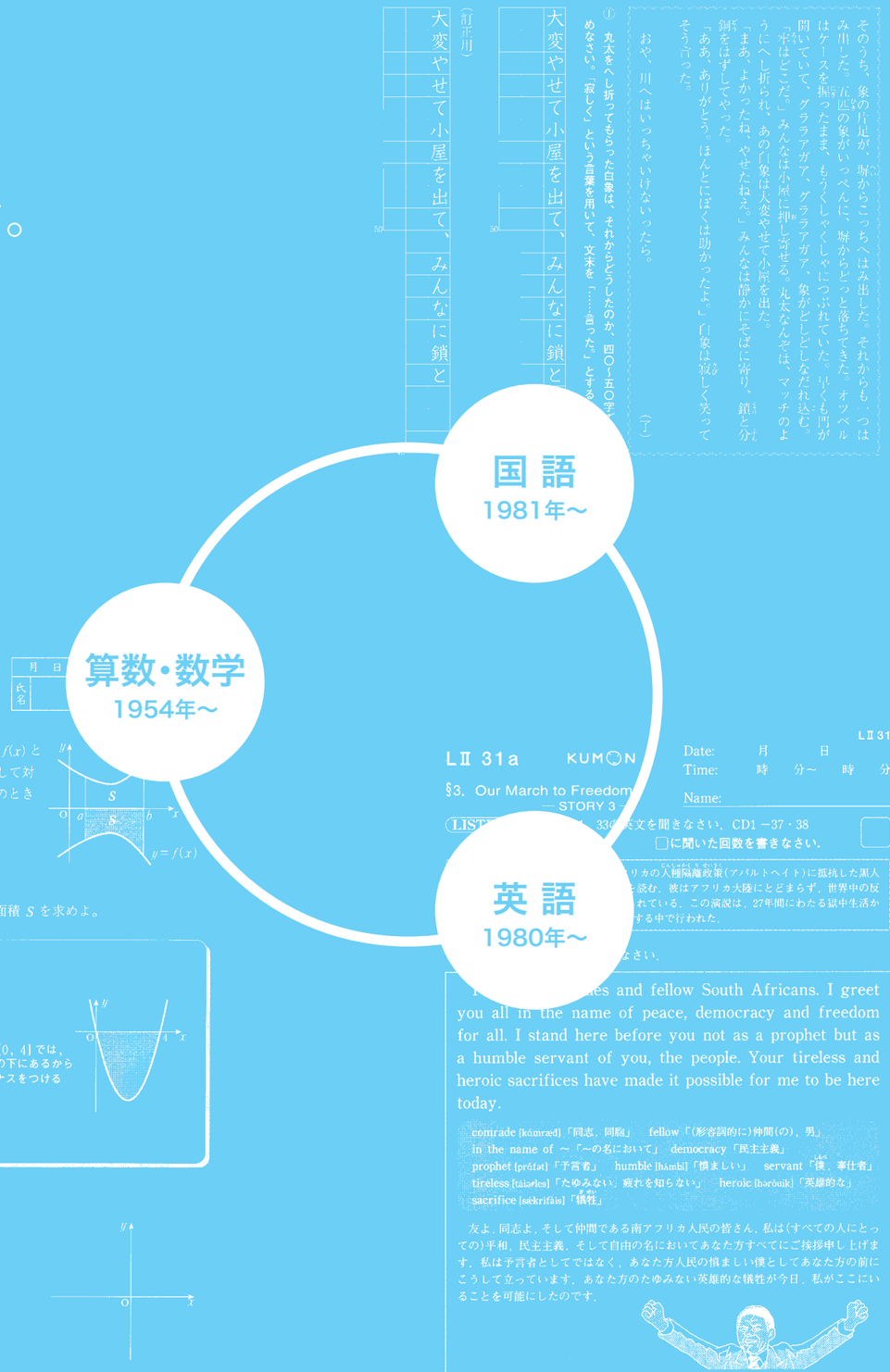
試験や受験のためのテクニックではなく、
将来にわたって通用する「生きる力」を育むために。
KUMONは、普遍的な基礎学力の養成に力を入れています。

社会で求められる「問題解決力」を育てる。

数学は基礎となる力を確実に身につけることで、さらに上のレベルの課題を自分の力で学ぶことができる教科です。KUMONでは、工夫して作られた教材と指導法で子どもたちが未知の学習課題まで学ぶことを通して、自習する経験を積ませ、その方法を学ばせます。その結果、社会に出て直面するさまざまな問題を自分で解決する力を育みます。

【算数・数学教材の特長】

公文式算数・数学教材の目標は、高校数学の学習を容易にすること。教材は高校課程→中学校課程→小学校課程というように"下降方式"で内容を精選し、それぞれの段階の学力をしっかり定着させながら着実にステップアップできるよう、全25教材・計5,000枚で構成されています。大きな特長は、代数計算が中心となっていること。微分・積分などの高度な問題も自分の力でスムーズに学習できるよう、長年にわたって培ってきた学習情報をもとに、さまざまな工夫を重ね続けています。



GII 30-b

■ 文章をよく読み、問題に答えなさい。

そのうち、象の片足が、塀からこっちへはみ出した。それからも、つはみ出した。五匹の象がいっぺんに、塀からどっと落ちてきた。オツベルはケースを掘ったまま、もうくしゃくしゃにつぶれていた。早くも門が開いていて、グラァアガァ、グラァアガァ、象がどしどしなだれ込む。「宝はどこだ。」みんなは小屋に押し寄せる。丸太なんかは、マッチのようにへし折られ、あの白象は大変やせて小屋を出た。

「まあ、よかったね、やせたねえ。」みんなは静かにそばに寄り、鎖と分銅をはずしてやった。

「ああ、ありがとう。ほんとにぼくは助かったよ。」白象は寂しく笑ってそう言った。

おや、川へはいっちゃいけないったら。

（子）

10点引き

大変やせて小屋を出て、みんなに鎖と

（訂正用）

大変やせて小屋を出て、みんなに鎖と

50

50

① 丸太をへし折ってもらった白象は、それからどうしたのか、四〇〜五〇字めなさい。「寂しく」という言葉を用いて、文末を「……言った。」とする

豊かな人間性の基盤となる「読解力」を養う。

国語は、すべての学力の基本となる教科です。その礎となるのは豊かな読書体験。KUMONは、四半世紀にわたり子どもたちの読書活動に力を入れてきました。幅広い読書体験を通して知識や知恵を身につけ、より深く感じ、考える力を養います。

【国語教材の特長】

公文式国語教材の目標は、高度な読書能力を養成すること。教材は身近なことばの獲得から、古今東西の名著の研究考察的読解まで全34教材・計6,800枚で構成。読書への発展を意図して、教材にはさまざまなジャンルの文章を取り入れています。また一人ひとりの子どもの読書力にあった良書を選ぶための指標として、人気が高く内容的にも優れた本を読みやすさの順に配列した「くもんのすいせん図書」（全650冊）を選定。教室では、子どもたちが楽しく本に触れあえるよう、くもんのすいせん図書を中心とする「くもん文庫」を設置しています。

L 142a KUMON

月 日
氏名

§15. 面積の1（33点引き）

区間 $[a, b]$ で、$y=f(x)$ と x 軸、$y=-f(x)$ と x 軸で囲まれた図形の面積は、x 軸に関して対称だから等しい。したがって、$f(x)\leqq 0$ のときの面積 S は次の式で求められる。

$$S=-\int_a^b f(x)dx$$

1. 次の曲線と x 軸とで囲まれた部分の面積 S を求めよ。

例

$y=x^2-4x$

〔解〕 $y=x^2-4x=x(x-4)=0$ より

$x=0,\ 4$

よって

$$S=-\int_0^4 (x^2-4x)dx \quad \text{区間 } [0,\ 4] \text{ では、} y \text{ は } x \text{ 軸の下にあるからマイナスをつける}$$

$$=-\left[\frac{1}{3}x^3-2x^2\right]_0^4$$

$$=-\left(\frac{64}{3}-32\right)=\frac{32}{3}$$

（1） $y=x^2+x-2$

LII 31a KUMON

LII 31

Date: 月 日
Time: 時 分〜 時 分
Name:

§3. Our March to Freedom
— STORY 3 —

LISTEN 330 英文を聞きなさい。CD1－37・38

□に聞いた回数を書きなさい。

アフリカの人種隔離政策（アパルトヘイト）に抵抗した黒人を読む。彼はアフリカ大陸にとどまらず、世界中の反れている。この演説は、27年間にわたる獄中生活かする中で行われた。

なさい。

…ies and fellow South Africans. I greet you all in the name of peace, democracy and freedom for all. I stand here before you not as a prophet but as a humble servant of you, the people. Your tireless and heroic sacrifices have made it possible for me to be here today.

comrade [kúmræd]「同志，同胞」　fellow「(形容詞的に)仲間(の)，男」
in the name of 〜「〜の名において」　democracy「民主主義」
prophet [práfət]「予言者」　humble [hʌ́mbl]「慎ましい」　servant「僕，奉仕者」
tireless [táiərləs]「たゆみない，疲れを知らない」　heroic [həróuik]「英雄的な」
sacrifice [sækrifàis]「犠牲」

友よ，同志よ，そして仲間である南アフリカ人民の皆さん，私は(すべての人にとっての)平和，民主主義，そして自由の名においてあなた方すべてにご挨拶申し上げます。私は予言者としてではなく，あなた方人民の慎ましい僕としてあなた方の前にこうして立っています。あなた方のたゆみない英雄的な犠牲が今日，私がここにいることを可能にしたのです。

I therefore place the remaining years of my life in your hands. On this day of my release, I extend my sincere gratitude to the millions here and around the world who have campaigned tirelessly for my release.

世界につながる「英文読解力」を伸ばす。

インターネットの普及により、英語は情報収集の手段としてもますます必要不可欠なものになっています。KUMONでは、挨拶程度の会話力にとどまらず、専用リスニング機器をフル活用してリスニング力を高めながら、英文を正確に読み取る力を伸ばしていきます。

【英語教材の特長】

公文式英語教材の目標は、高度な英文を自在に読みこなす読解力を養成すること。全10冊の冊子教材と、計4,000枚のプリントから構成されています。身近な言葉や簡単な表現をリズムよくくり返すところからはじめるので、初めて英語に触れる子どもたちも楽しく英語の世界を広げていけます。

さらに楽しいストーリーやナチュラルな場面展開の中で生きた言葉としての英文を聞き、復唱し、書いて音読することで語彙力・構文把握力・リスニング力などを自然に身につけていきます。これらの力をもとに、優れた文学・評論・演説などの英文読解に進んでいくのです。

KUMONの

特長 ちょうどの学習

一人ひとりの可能性を、最大限に伸ばす。
公文式は、年齢や学年の枠にとらわれません。

子どもたちの「やればできる」という自己肯定感を育み、
未知の領域にも、自分から挑戦する力を培いたい。
公文式は、一人ひとりの「可能性の追求」を目指す教育です。

年齢や学年に合わせるのではなく、「子ども」に合わせた学習を。

「個人別・学力別学習」

公文式の教室には黒板がありません。同じ教室でも、たし算を学ぶ小学2年生もいれば、分数を学ぶ小学2年生もいる。公文式では、年齢別の一斉授業による同一カリキュラムでは飽き足らない子も、学校の授業が難しいと感じている子も、自分の能力を最大限に伸ばしていけるよう、一人ひとりの学習の習熟度に応じた「ちょうどの学習」を追求しています。公文式で学ぶ子どもたちは、その子がらくに解けるところから学習を始め、常に自分の力にあった教材を自分のペースで解き進めることで、学ぶ楽しさやできる喜びを育みながら学力を高めます。

自ら進んで学ぶ力は、夢や目標を実現する力へ。

「自学自習で進む」

受け身ではなく、自分の力で課題に取り組んでこそ学習意欲が芽生え、さらに先に進もうとする向上心が生まれる。公文式は「自ら学ぶ力」を大切にしています。新しい課題の導入部には必要な解説や例題を設けるなど、自分の力で上の段階へスムーズに進んでいけるための工夫もそのひとつ。「ちょうど」の教材を一気に解くことで集中力をつけ、つまずいたところや時間がかかりすぎたところは、十分な練習をする。解き方や答えを教え込まれるのではなく、答えを自分で導き出していく力は、やがて夢や目標を実現する力になっていきます。

KUMONの

特長 スモール・ステップ

一歩一歩、確実にステップアップ。
一人ひとりの「成長の過程」を大切にしたい。

公文式の教材は、子どもの「学ぶ力」を引き出すために、
誰もが自分の力で進めていけるようにきめ細かいステップで構成。
一人ひとりが自然に伸びていける「学び」があります。

小さな進歩が、大きな成果へ。
無理せず、自分の力で進めていける教材を。

「スモール・ステップの教材」

公文式のすべての教材は、やさしい問題から高度な問題へ、非常にきめ細かい「スモール・ステップ」で構成されています。そのため、常に一人ひとりに合った「ちょうどの学習」を通じ、自分自身の力で少しずつ着実にステップアップしていくことができるのです。多くの子どもにとって難しい箇所があれば、生徒の学習情報の分析や指導者からの報告をもとに、内容を随時検討して教材そのものを改善していきます。公文式の教材を進化させているのは、ほかならぬその教材を学習している子どもたち自身なのです。

C　九九、基本的なかけ算・わり算
B　たし算、ひき算（筆算）
A　たし算、ひき算（暗算）
2A　たし算の基礎（暗算）
3A　120までのすうじの書き、たし算の導入
4A　すうじの練習、50までのすうじの書き
5A　50までのすうじの読み
6A　10までのすうじの読み
（2024年10月現在）

XT　多変数関数を含む微分・積分、微分方程式、ルベーグ積分
XS　集合、数列と級数、1変数関数の微分・積分
XR　ベクトル空間、行列、行列式
XQ　ベクトル、複素数平面、式と曲線、行列、1次変換
XP　場合の数と確率、データの分析、統計的な推測

※XP～XT教材：最終教材（0教材）を修了した生徒向けの教材群（コンプリーターズコース）

O　微分、積分、微分方程式
N　数列、極限、微分
M　図形と方程式、三角比、三角関数
L　対数関数、微分、積分
K　2次関数、高次関数、分数関数、無理関数、指数関数
J　因数分解、無理数、2次方程式、因数定理、等式・不等式の証明
I　平方根、2次方程式、不等式、1次関数、2次関数、三平方の定理
H　連立方程式、単項式・多項式、因数分解
G　正負の分数計算、文字式の計算、1次方程式
F　分数（四則混合）、文章題、小数
E　分数（加減乗除）
D　かけ算、わり算、分数、約分

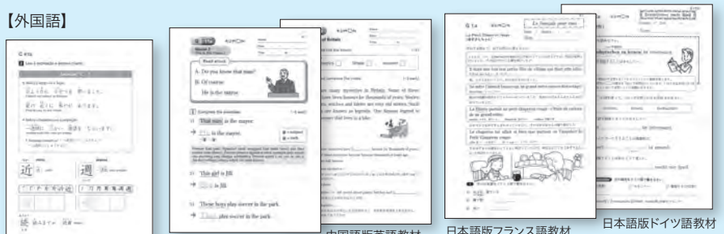
国や言語が変わっても、教材はスモール・ステップ。

現在世界各地で使用されているKUMONの教材。母国語教材として、英語やスペイン語、ポルトガル語、中国語なども学習されています。もちろん、そのすべてが、スモール・ステップの教材。あらゆる国の子どもたちが、無理なくスムーズに学習を進めていけるような構成です。さらに、教室現場からのフィードバックにより、子どもたちがもっと学習しやすい教材へと、日々、進化を続けています。

【母国語】

タイ語母国語教材　ポルトガル語母国語教材　中国語母国語教材　スペイン語母国語教材　英語母国語教材

【外国語】



ポルトガル語版日本語教材　インドネシア語版英語教材　中国語版英語教材　日本語版フランス語教材　日本語版ドイツ語教材

KUMONの

特長 指導者の存在

一人ひとりの可能性を引き出すために。KUMONは、子どもたちから学ぶ集団です。

教えるのではなく、「自分でできた」に導く。
KUMONの指導者は、子どもの「できること」を見つけ、
可能性を追求するプロフェッショナルです。

子どもが、自分の力で伸びていくために。
「指導者の役割」

公文式教室の指導者は、問題の答えや解き方をすぐに教えることはありません。問題を解くのは、子ども自身の力。「その子のできること」を見つけて、潜んでいる可能性を引き出す存在。それが公文式の指導者です。子どもたち一人ひとりとしっかりと向き合い、その子の学力や個性・気持ちをきちんと把握したうえで、「ちょうどの学習」ができるようサポートすること。ほかの誰かと比較するのではなく、その子自身の成長を認め、ほめ、励ましていくこと。さらには保護者の方の相談に乗り、一緒になって子どもを見守っていくこと。子どもたちの成長を心から願う多くの指導者の存在があるからこそ、公文式は効果を発揮することができるのです。

子どもを観察し、「自分でできた!」に導く

学習中の子どもの様子を観察し、必要に応じてヒントやアドバイスを与えます。また、教材を解き終わった子どもたちの答案を採点します。間違いは、すぐに解き方や答えを教えるのではなく、ヒントを与えて、間違えた箇所や理由を、その子ども自身が発見できるように促します。

学習の進め方を検討する

学習者の学習状況を成績表に記録し、その子どもが次にどう進んでいくべきか検討します。入会時に立てた学習の見通しについても、定期的に点検を行い、必要に応じて修正したり、指導のしかたを工夫します。

出発点を定め、見通しを立てる

入会時に行う学力診断テストの結果を参考に、その子が学習する「楽しさ」を実感できるよう、確実に100点を取れる段階の教材を学習の出発点に定めます。そしてその出発点から、いつまでに、どこまで伸ばすか、一人ひとりに適切な見通しを立てるところからスタートします。

自分の力で進める教材を判断する

成績表の記録や解答済みの教材、学習中の観察をもとに、その子が自分の力で進んでいけると判断した教材を用意します。新しいステップの教材に進んだ子や最近学習ペースが落ちている子などには、学習前に声をかけて、その日の学習のしかたや課題についてアドバイスします。

認め、ほめ、励ます

学習終了後は、その日の学習結果を確認して、ほめたり、励ましたり、学習意欲を高めるように子どもとコミュニケーションをとります。そして、家庭で学習する教材を渡し、家庭での学習についてアドバイスします。

保護者とともに子どもを伸ばす

指導者は、保護者との日常のコミュニケーションや個別面談で、家庭学習の様子や課題を知り、また学習状況だけでなく将来にわたっての学習計画をわかりやすく伝えることで、保護者と一緒にその子どもの可能性を広げ、能力を伸ばしていきます。

よりよい指導法を追求し、研鑽に励むKUMONの指導者

指導者は子どもたち一人ひとりの可能性を引き出すため、日々、研鑽に励んでいます。また、指導者が互いに学び合う研究大会が、地域・国単位のみならず世界規模でも行われています。このような学びを通してKUMONの教材や指導法は深化し続けているのです。

KUMONの

あゆみ

時を越えて。国境を越えて。すべては、一人ひとりのために。

「学び」を通じて一人ひとりの可能性を引き出したい。
小さな算数教室から生まれたKUMONの想いは、
世界中の国々で大きく花開いています。

1950

1955年
大阪府守口市に、公文式教材を使用した算数教室を開設

1958年
大阪数学研究会創立

1960

1969年
国内学習者数
1万を超える

1970

1974年
『公文式算数の秘密』(廣済堂出版刊)がベストセラーに
公文式が一躍世間に広がったのは、創始者・公文公(くもん とおる)が最初に著した一冊の本がきっかけでした。数十万人の具体的な指導実例と学習効果とともに、公文式学習法の真意や理論を初めて公的に紹介したことが大きな反響を呼び、問い合わせが殺到しました。

1974年
海外(ニューヨーク)で初めて算数教室を開設
海外での公文式は、1974年にニューヨークでの算数・数学教室からはじまりました。当初生徒の大半は日本人の子どもたちでしたが、公文式の効果が現れるにつれ現地の子どもたちに広がっていきました。現在では、現地の指導者による現地の子どもたちのための教育として定着しています。

1975年
台湾に教室開設

1977年
国内学習者数
20万を超える

1979年
国内学習者数
50万を超える

1980

1980年
英語教室スタート

1980年
ドイツ デュッセルドルフに現地法人設立

1980年
ブラジル サンパウロに現地法人設立

1981年
国語教室スタート

1981年
国内学習者数
100万を超える

1982年
アメリカ ロサンゼルスに現地法人設立

1983年
海外学習者数
1万を超える

1984年
日本語教室スタート

1984年
オーストラリア シドニーに現地法人設立

1985年
ペン習字教室スタート

1986年
フランス語教室・
ドイツ語教室スタート

1988年
香港に現地法人設立

1988年
サミトンの奇跡
テレビのニュースで公文式を知ったアメリカ合衆国アラバマ州サミトン校から「ぜひ授業に取り入れたい」との申し入れがあり、同校の正課の授業に公文式が導入されました。それにより、KUMONの学力診断テストの平均点が20点以上上昇する、というめざましい効果を発揮。「サミトンの奇跡」として全米の有力メディアから大々的に報道され、大きな反響が巻き起こりました。

1989年
国内学習者数
150万を超える

1990

1990年
イギリス ロンドンに
現地法人設立

1991年
海外学習者数
20万を超える

1993年
全世界の学習者数
200万を超える

1995年
海外学習者数
50万を超える

1995年
シンガポールに現地法人設立

1996年
南アフリカ ヨハネスブルグに
現地法人設立

1998年
海外学習者数
100万を超える

2000

2000年
グループ経営体制へ移行

2001年
全世界の学習者数
300万を超える

2001年
学習療法の実践研究スタート

2001年
新KUMONロゴ誕生

KUMON

2003年
海外学習者数
200万を超える

2004年
インド ニューデリーに現地法人設立

2006年
全世界の学習者数
400万を超える

2008年
KUMON創立50周年

2010

2012年
Baby Kumon スタート

Baby Kumon

2014年
公文 公生誕100年記念式典

2018年
KUMON 創立60周年

2023年
パキスタン ラホールに
現地法人設立
KUMONの脳トレ スタート

KUMONの脳トレ

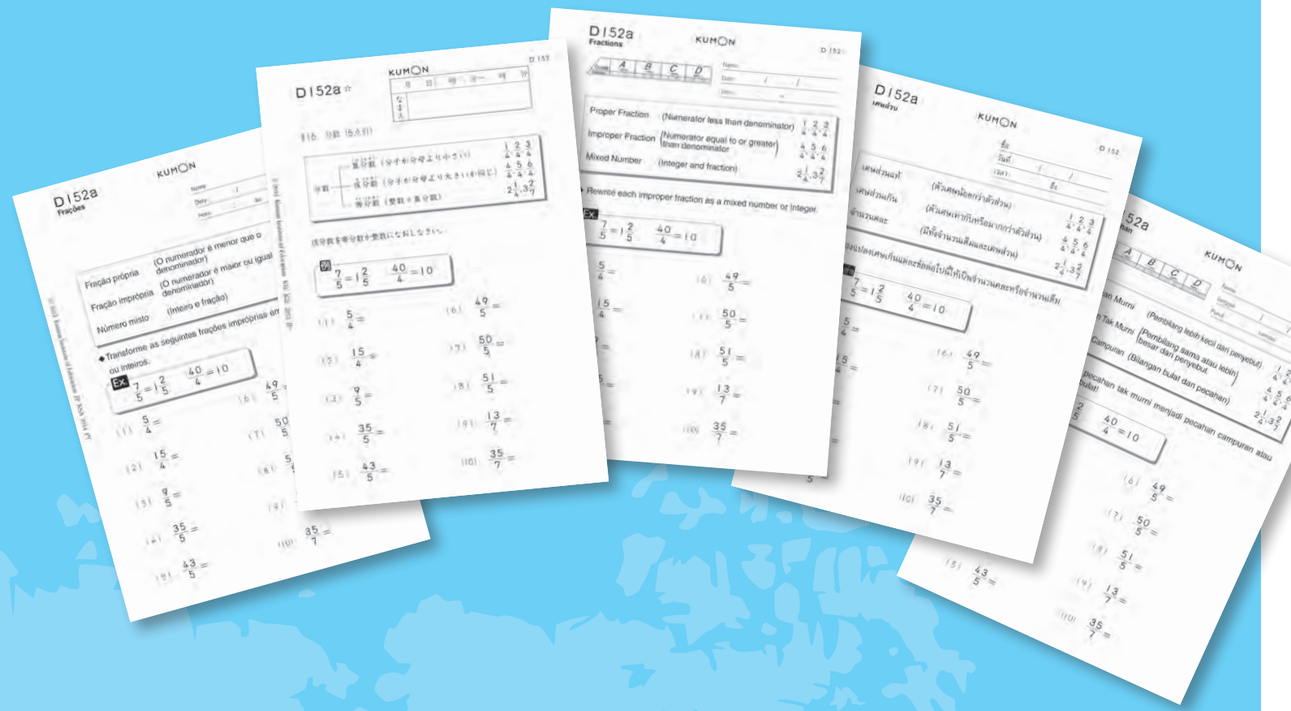
※一部の現地法人のみ掲載

KUMONの

世界への広がり

KUMONは、世界の共通語。
60を超える国と地域に、「学び」を届けています。

親が子どもを想う気持ちは、万国共通。
一組の親子からはじまった公文式だからこそ、
国境を越えて受け入れられています。



個人別・学力別学習だからこそ、世界で受け入れられる。

「教育は個人別・能力別に行われるべきである」という公文公の信念から生まれた公文式学習。そうして半世紀以上、経験や知恵を積み重ねてきたKUMONの個人別・学力別学習に国境はありません。「学びの根幹となる基礎学力を育てること」を目的とし、その学習効果が認知されてきたことで、文化や価値観、教育システムが異なる国や地域でも受け入れられています。

公文式学習法のメソッドは、世界共通。

KUMONが世界に広がったもう一つの理由は、その独自のメソッドにあります。子どもの能力に合わせて確実なステップアップを図るスモール・ステップの教材は、世界共通です。紙と鉛筆さえあればどんな国でもできる、普遍的な教育法だからこそ、たとえ国が変わっても、変わることのない高い学習効果を発揮できるのです。

ヨーロッパ 20カ国

アイルランド・アンドラ・イギリス・イタリア・オーストリア
オランダ・ギリシャ・クロアチア・スイス・スペイン・チェコ
ドイツ・ハンガリー・フランス・ブルガリア・ベルギー
ポーランド・ポルトガル・ルーマニア・ルクセンブルク

中東 3カ国

カタール・バーレーン・U.A.E.

アフリカ 5カ国

ケニア・ザンビア・ナミビア・ボツワナ・南アフリカ

アジア 20カ国・地域

インド・インドネシア・韓国・カンボジア・シンガポール
スリランカ・タイ・中国・日本・ネパール・パキスタン
バングラデシュ・フィリピン・ブルネイ・ベトナム
マレーシア・ミャンマー・台湾・香港・マカオ

オセアニア 2カ国

オーストラリア・ニュージーランド

北米 6カ国

アメリカ・カナダ・グアテマラ・コスタリカ・パナマ
メキシコ

南米 7カ国

アルゼンチン・ウルグアイ・コロンビア・チリ
ブラジル・ペルー・ボリビア

（2024年3月現在）

KUMONの

世代の広がり

子どもから、高齢者まで。
生涯を通じて、学ぶ喜びを届けたい。

学びを通じて能力を伸ばす喜びは、子どもだけのものではありません。
KUMONは、自らの可能性を広げ、豊かな人生を願うすべての人のために、
学びを軸とした地域コミュニティを創造し、地域社会に貢献します。

乳幼児

大切な親子のきずなを、「ことば」の力で育みたい。

Baby Kumon

0~2歳の親子のためのBaby Kumon。「親子のきずなを育み、伸びる子どもの土台をつくる」をコンセプトに、歌や読み聞かせを中心とした「ことばのやりとり」を楽しめるようサポートします。

多様な学力に対応できる公文式を、学校現場へ。

学校での公文式

生徒の多様性が広がるなか、学力や学習姿勢・意欲の格差に悩む学校現場からの「公文式を活用したい」とのご要望を受け、導入。その効果が実感されるようになってきています。

高齢者

一人でも多くのご高齢者とそのご家族の笑顔を増やす

学習療法センター

学習療法［認知症進行抑止・改善］

「読み書き・計算・コミュニケーション」を通じて、認知症の進行抑止・改善を目指したプログラム。日本とアメリカの高齢者介護施設で、ご利用者のためのプログラムとして活用されています。

脳の健康教室［認知症予防］

自治体・団体・法人などが主催者、地域住民が教室サポーターとなり、シニア世代のための脳の健康づくりを目指したプログラム。仲間づくりや世代間交流を促進し、地域コミュニティにも貢献しています。

KUMONの脳トレ

KUMONの教材制作ノウハウと脳科学の知見が詰まった個人向けのサービス。「教材」「測定」「情報」の3要素で構成され、「自宅で！気軽に！楽しく！」をコンセプトとした50代以上の中高年・シニア世代の脳の健康づくりをサポートするプログラムです。

学習療法教材

高齢者の方が読みやすい大きさの文字やイラスト、回想法的要素などが盛り込まれた学習療法専用教材。スラスラと音読・計算することで脳の活性化を図ります。

生涯学習

暮らしの中で効果を実感できる教材

基礎・基本から小刻みに段階を踏みながら着実にステップアップできる教材は、日常生活の中で生かせる書写力の養成を目的としています。

書写の学びを通じて、人生が豊かになることを実感していただきたい。

（株）公文エルアイエル

手書き文字の上達をサポートする、公文の書写教室。文字の上達や学習過程で得られるさまざまな自分ならではの価値を、年齢を問わず多くの人に実感いただいています。幼児から高齢者まで世代を超えた学習者が通う教室は、互いの存在を認め合う地域交流の場にもなっています。新たにシニア世代が豊かに、健康に過ごせる地域社会の創造を目的とする、65歳から学べる「シニア書写教室」をスタートしました。

外国語学習で、より広い視野を育む。

フランス語・ドイツ語

「公文式学習法であれば、フランス語・ドイツ語であっても、誰でもできるようになる」という考えから生まれた教材です。初心者、経験者に関わらず、フランス語・ドイツ語に関心を持った幼児・小学生から、大学生・社会人までが学習しています。公文式算数・数学・英語・国語で高い学力を身につけた生徒たちの更なる能力開発にも貢献しています。

国際化が進む地域のために日本語教育という貢献を。

日本語

外国人のための、KUMONの日本語教育。英語版・ポルトガル語版・中国語版の教材を活用し、出身国や年齢層もさまざまな生徒が「自学自習」で日本語を学んでいます。グローバルな交流が進む今、日本各地で需要が高まっています。

書籍や知育玩具を通して、子どもの可能性を引き出す。

（株）くもん出版

ドリル、カード、絵本・児童書などの出版物や知育玩具の開発・販売を展開するくもん出版。子どもたちの学ぶ力を引き出す出版物や教育関連商品を通して、子どもたちの未来に貢献することを使命としています。教室現場で検証を重ねたその商品は、一般市場でも高い評価を得ています。

より多くの方々に学ぶ喜び、成長する喜びを。

施設での公文式

公文式による児童養護施設での学習支援は、創立間もない頃から始まりました。現在は、児童発達支援・放課後等デイサービス、就労移行支援施設等の施設へ導入が拡大。学習者の自己肯定感の醸成と自立支援に活用されています。学習を通じて、基礎学力、集中力や粘り強さなど、将来さまざまな場面で必要となる力の向上につながっています。

KUMONの

活動の広がり

誰にでも学ぶ喜び、できるうれしさを。

障害児・障害者教育

公文式は、一人ひとりがもつ能力を個人別に伸ばしていく学習法であり、それは、障害のある方も変わりはありません。教材も基本的な指導も同じです。公文式の教材は、文字や数字を読むレベルから、大学の教養課程レベルまで、小さなステップで構成されているので、どの学習者にも「今できること」があります。学び取る速さには違いがあるかもしれませんが、「今できること」をくり返すことで、集中力や処理能力などが高まり、自分でできることが増えていきます。この「自分でできた！」という積み重ねが「自信」や「やる気」につながり、さらに新しいことへ向かう挑戦心も育まれていきます。公文式学習を通じて、誰もが自らの可能性を広げ、学ぶ喜び、できるうれしさを感じてほしいと願っています。

『つくしんぼ、のびた』(くもん出版刊)
各地から寄せられた指導実践・学習の軌跡をまとめた書籍。

江戸の子ども文化を通じて、現代にメッセージを。

「くもん子ども浮世絵」コレクション

KUMONは、文献だけでは知ることのできない江戸時代の子どもの生活や子育ての様子を生き生きと描いた「子ども浮世絵」をはじめ、絵巻や屏風、寺子屋で使われた教科書「往来物」や玩具など、貴重な子ども文化史料を3,200点所蔵しています。これらの史料から浮かび上がる子どもたちの学びや遊びの様子、「子宝思想」と呼ばれる子どもを大切に育てる江戸社会のあり方は、現代の教育や子どもを取り巻く環境を考える大きなヒントになります。KUMONはこれらの史料の公開と活用を通じ、社会全体で子どものよりよい未来を考えるきっかけづくりを進めていきます。

「くもん子ども浮世絵ミュージアム」公開中
https://www.kumon-ukiyoe.jp/

英語を道具に世界を感じ、地球社会に貢献できる人に！

English Immersion Activities

英語で世界を感じ、地球社会に貢献できる人材を育むために。世界各国出身のリーダーとの時間を通して、子ども達が多様性への理解を深め、地球規模の視野をもつことを目指しています。

歌と読書に親しみ、豊かな心の成長を。

協賛活動

親と子のきずなとしての童謡を大切に歌い継いでいってほしいと願って1986年から開催されている「童謡こどもの歌コンクール」。歌を通じた子どもたちの心の成長を後押しするため、ＫＵＭＯＮはこれらの活動をサポートしています。

「童謡こどもの歌コンクール」

「ことばで育む親子のきずなづくり」を広めたい。

子育て応援活動

うたや読み聞かせを通じて「ことばで育む親子のきずな」を、より多くの子育て中の方々にお伝えするために、KUMONは絵本情報満載の、うたや読み聞かせの記録アプリ「mi:te(ミーテ)」の運営を行っております。

「mi:te(ミーテ)」

グローバル人材の育成をめざした小中高生向けのTOEFL®

TOEFL Primary®、TOEFL Junior®の広がり

グローバル・コミュニケーション＆テスティングは、2011年よりTOEFL Primary®とTOEFL Junior®の普及と運営を日本国内で行っています。2つのテストは、世界基準で英語力を測る小中高生向けの英語運用能力テストです。合否ではなくCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）に連動するスコアで結果が表され、継続して運用能力の推移が把握できるため、学校・団体を中心にテストの活用が広がっています。

toefl

沿革

1954年 ●公文公が小学2年生の長男のために計算問題をルーズリーフに書き、自習形式の学習を開始〈公文式の原型〉

1955年 ●大阪府守口市に、公文式教材を使用した算数教室を開設

1958年 ●大阪数学研究会創立

1962年 ●(有)大阪数学研究会設立
●東京で第一号教室を新宿区に開設

1963年 ●東京事務局開設

1972年 ●(有)大阪数学研究会を(有)大阪公文数学研究会に社名変更、(有)東京公文数学研究会設立

1974年 ●海外(ニューヨーク)で初めて算数教室を開設
●『公文式算数の秘密』(廣済堂出版)がベストセラーとなる

1975年 ●台湾に教室を開設

1977年 ●幼児向けドリル刊行開始

1979年 ●第一回全国公文指導者研究大会開催

1980年 ●英語教室スタート
●ブラジル サンパウロに現地法人設立
●ドイツ デュッセルドルフに現地法人設立

1981年 ●国語教室スタート
●第一回公文障害児指導研究大会開催
●(有)大阪公文数学研究会、(有)東京公文数学研究会をそれぞれ株式会社に組織変更

1982年 ●アメリカ ロサンゼルスに現地法人設立
●(株)大阪公文数学研究会と(株)東京公文数学研究会が合併し、(株)公文数学研究会となる

1983年 25周年 ●(株)公文数学研究会より(株)公文教育研究会に社名変更

1984年 ●オーストラリア シドニーに現地法人設立
●日本語教室スタート

1985年 ●ペン習字教室スタート

1986年 ●フランス語教室・ドイツ語教室スタート

1988年 30周年 ●(株)くもん出版設立
●香港に現地法人設立
●カナダ トロントに現地法人設立
●アメリカの公立小学校に、公文式算数が導入される

1990年 ●英語母国語教材、オーストラリアで使用開始
●イギリス ロンドンに現地法人設立

1991年 ●スペイン マドリードに現地法人設立

1993年 35周年 ●中国語母国語教材、台湾で使用開始

1994年 ●ポルトガル語母国語教材、ブラジルで使用開始

1995年 ●創始者 公文 公永眠
●シンガポールに現地法人設立
●チリ サンティアゴに現地法人設立
●メキシコ メキシコシティに現地法人設立
●中国 上海に現地法人設立

1996年 ●(株)公文エルアイエル(公文書写)設立
●南アフリカ ヨハネスブルグに現地法人設立
●フィリピン マニラに現地法人設立

1997年 ●公文 毅永眠
●マレーシア クアラルンプールにオフィスを開設

1998年 40周年 ●タイ バンコクに現地法人設立
●アルゼンチン ブエノスアイレスに現地法人設立

2000年 ●インドネシア ジャカルタに現地法人設立
●グループ経営体制へ移行
●(株)公文公教育研究所設立

2001年 ●第一回世界リーダー研修開催
●第一回English Immersion Camp開催
●産官学による学習療法の実践研究がスタート
●新KUMONロゴ誕生

2003年 45周年 ●KUMON看板一斉架け替え

2004年 ●EFL(外国語としての英語)教材、ブラジルで使用開始
●スペイン語母国語教材、南米5カ国で使用開始
●インド ニューデリーに現地法人設立
●コロンビア ボゴタに現地法人設立

2005年 ●CFL(外国語としての中国語)教材、韓国で使用開始
●中国 広州に現地法人設立

2006年 ●ベトナム ホーチミンに現地法人設立

2008年 50周年 ●タイ語母国語教材、タイで使用開始

2010年 ●大学向け教育サービスの事業化スタート

2011年 ●TOEFL Junior®の普及・運営を開始
●中国 北京に現地法人設立

2012年 ●Baby Kumon スタート

2014年 ●公文 公生誕100年
●TOEFL Primary®の普及・運営を開始

2018年 60周年 ●マカオに現地法人設立

2023年 ●インドネシア語母国語教材、インドネシアで使用開始
●パキスタン ラホールに現地法人設立
●KUMONの脳トレ スタート

「公文式教育を通じて
地球社会の課題解決にグローバルに貢献する」

KUMONは創立以来、子どもたちに、高い学力のみならず、自ら学んでいく力を身につけてほしいとの思いで、実践を積み重ねてまいりました。目の前の学習者一人ひとりの可能性を信じ、その能力を最大限に引き出すために、その子にとっての「ちょうど」を見つけ、最適な教材を与え指導していく。一人の父親がわが子のために考案したこの公文式学習法は、今や世界60を超える国と地域に広がっています。

公文式の考え方と実践は、現在では、乳幼児から高齢者の方々まで世代を越えて様々な方に支持されています。人生100年時代と言われる中で、生涯を通した学びにも応えられる公文式教育に対する世の中の期待も感じます。KUMONは、今後とも実践を積み重ね、学習者から学び続けることで公文式を磨き、よりいっそう世の中に貢献できるように努力を重ねてまいります。

KUMONは国際的な社会における課題解決にも取り組んでいます。国連は、世界の貧困をなくし持続可能な世界を実現するために、「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げましたが、その4番目に「質の高い教育をみんなに」があります。教育は持続可能な世界を実現するために最重要な課題の一つです。KUMONは学習者の持つ可能性を最大限に伸ばす公文式教育を実践してまいりましたが、KUMONのこの教育活動は、「質の高い教育をみんなに」の実践例だと自負しております。

世界にはまだまだ私たちKUMONの力だけでは公文式学習を届けられない層の子どもたちがいます。また、教育に力を入れることが難しい環境に置かれている国や地域もあります。同じくSDGsの17番目には、「パートナーシップで目標を達成しよう」があります。教育格差という社会的課題の解決に少しでも貢献するために、私たちは信頼できるパートナーと連携して公文式を提供していきたいと願っています。

よりよい教育が希求される今、私たちは自らの責任と使命を心に刻み、公文式教育を通じて、目の前の一人ひとりの子どもたちの自立を後押しするとともに、地球社会が抱える課題解決にもグローバルに貢献することができるよう、日々邁進してまいります。KUMONに対するますますのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社 公文教育研究会
代表取締役KUMONグループ代表
池上秀徳

KUMONの
取り組むSDGs

公文の理念

「われわれは
個々の人間に与えられている可能性を発見し
その能力を最大限に伸ばすことにより
健全にして有能な人材の育成をはかり
地球社会に貢献する」

KUMONは1958年の創立以来、現在に至るまで66年にわたり、多くの子どもたちの学習を見守るとともにその成長を応援してまいりました。

私たちは、公文式学習法（KUMONメソッド）を通じ、一人ひとりの子どもたちが、学力を伸ばすと同時に自習する態度と方法を身につけていくことで、自分自身の可能性を開花させ、将来にわたり社会で活躍できる、自立した人材の育成をめざしています。

おかげさまで公文式教室は、日本国内のみならず今や世界60を越える国と地域に広がるまでになりました。
当然ながら教育や子育てに関する考え方や価値観は、国や地域においてそれぞれ大きく異なりますし、各家庭においても多種多様な教育観が存在しています。

その中でKUMONがこれだけ多くの国と地域で受け入れられている要因として、大きく2つあります。

1つは、「今」だけではない、「将来」にむけての必要な力を育む学習法に共感いただいていること、そして2つめは、各国・各地域でKUMONの考え方に賛同した多くの公文式指導者と歩みを共にできているからに他なりません。

昨今の生活スタイルの多様化、ICTの急速な拡大、そしてAIの台頭など、教育および教育サービスの分野においても、その価値観は揺らぎ、世界的に大きな変革の波が押しよせようとしています。
そうした激動の世の中においても、私たちは不易である価値観「どのような環境においても子どもたちの可能性を発見し伸ばしていく」ための挑戦を続けていきます。

そして、公文式教室に通っている子どもたちが、自身の日々の成長を実感しながら学習を続けてくれている背景には、ひとえに、お子様を温かく時には励ましながら見守ってくださる保護者の皆様の、多大な支えがあると強く実感しております。

この場を借りまして、皆様の教育への献身と情熱に敬意を表すとともに、感謝を申し上げます。

これからもお子様と保護者の皆様の信頼に応えられるよう努力を重ねていく所存です。

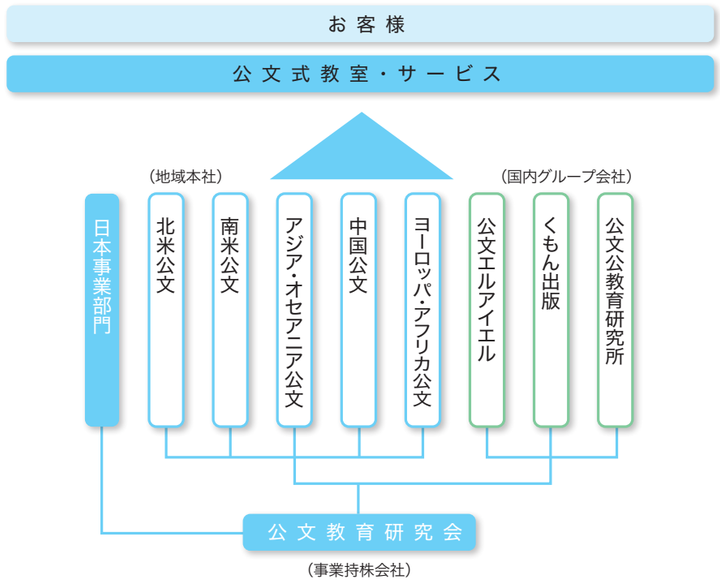
“教育は百年の計”と言われるように、その成果は単に試験や学業のスコアだけで測れるものではないと考えています。

自らの力と可能性を信じ、困難においても立ち向かい、めざす夢や目標に向かって進んでいく…そんな次代を担う人材を育て、社会に貢献することを使命として取り組んでまいります。

株式会社 公文教育研究会
代表取締役社長
田中三教

会社概要

KUMONグループ組織図(略図)



株式会社 公文教育研究会

代表取締役社長	:	田中 三教
所在地	:	大阪／〒532-8511 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 公文教育会館 東京／〒108-0074 東京都港区高輪4丁目10番18号 京急第1ビル12階
創立	:	1958年7月(昭和33年)
設立	:	1962年8月(昭和37年)
資本金	:	44億18百万円(2024年3月決算)
連結売上高	:	875億88百万円(2024年3月決算)
連結経常利益	:	183億29百万円(2024年3月決算)
拠点数	:	国内48カ所、海外67カ所(2024年7月現在)
従業員	:	3,731人(KUMONグループ全体)(2024年3月現在)
URL	:	https://www.kumon.ne.jp

公文教育会館

■教育事業関連データ (2024年3月現在)

<国内>		<海外>		<展開国数>
学習者数	：132万	学習者数	：223万	世界63の国と地域(日本含む)
教室数	：1万5,100教室	教室数	：8,200教室	
教室指導者数	：1万3,400人	教室指導者数	：8,000人	

※学習者数は全教科合計学習者数

地域本社

●北米公文
社名 : Kumon North America, Inc.
所在地 : 301 Route 17 North, 12th floor, Rutherford, NJ 07070 U.S.A.
代表取締役社長 : 田邊 稔
URL : https://www.kumon.com

●アジア・オセアニア公文
社名 : Kumon Asia & Oceania Pte. Ltd.
所在地 : 8 Cross Street, #26-04/07, Manulife Tower, Singapore 048424
代表取締役社長 : 八木 郁哉
URL : https://kao.kumonglobal.com

●ヨーロッパ・アフリカ公文
社名 : Kumon Europe & Africa Ltd.
所在地 : 4th Floor West, Ealing Cross 85 Uxbridge Road, Ealing London, W5 5TH U.K.
代表取締役社長 : 清水 正宏
URL : https://www.kumon.co.uk

●南米公文
社名 : Kumon América do Sul Instituto de Educação Ltda.
所在地 : Rua Tomás Carvalhal, 686, Paraíso, CEP 04006-002, São Paulo, SP., Brasil
代表取締役社長 : 田邊 稔
URL : https://www.kumon.com.br

●中国公文
社名 : Kumon China Co., Ltd.
所在地 : Units 3403-3408, 34/F, Chubb Tower, Windsor House, No. 311 Gloucester Road, Causeway Bay, Hong Kong
代表取締役社長 : 於保 哲朗
URL : https://www.kumonbj.com.cn/zh-cn

国内グループ会社・会社概要

(株)くもん出版
1980年に公文教育研究会の出版部門として発足し、1988年に独立。ドリル、カード、絵本・児童書などの出版物や知育玩具の開発・販売を通して、子どもたちの成長をバックアップしている。

■所在地:東京都品川区東五反田2丁目10番2号 東五反田スクエア11F
■設立: 1988年2月(昭和63年)
■資本金:1億円
■代表取締役社長:泉田 義則
■URL: https://www.kumonshuppan.com/

(株)公文エルアイエル
1985年に公文教育研究会の新規事業部門として発足し、1996年独立。生涯学習を事業テーマに多くの人が「書写」を通じて学ぶ喜びを知り、心豊かな人生を過ごせるよう支援している。幼児から高齢者まで、世代を超えた幅広い年代の支持を得ている。新たにシニア世代対象の「シニア書写教室」をスタート。

■所在地:大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 公文教育会館
■設立: 1996年9月(平成8年)
■資本金:5,000万円
■代表取締役社長:津田 美衣子
■URL: https://www.kumon.ne.jp/lil/

(株)公文公教育研究所
公文式の創始者・公文公の教育思想を継承・発展させることを目的に、1995年に部署として発足、2000年に独立。世界各国に広がる公文式の教材・指導法を正しく継承させることを使命とする。教育情報の調査・研究なども手がけ、公文式教育の価値を、KUMONグループ全体で共有するための中心的役割を担っている。

■所在地:大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 公文教育会館
■設立: 2000年10月(平成12年)
■資本金:5,000万円
■代表取締役社長:紙西 英利
■URL: https://www.kumon.ne.jp/toru/

創始者 公文公が設立した、学校法人公文学園

のびてゆく幼稚園
■ 開園:1982年4月
■ 所在地:大阪府高槻市黄金の里1-3-1

公文国際学園
■ 開校:1993年4月(中等部)、1996年4月(高等部)
■ 所在地:神奈川県横浜市戸塚区小雀町777

スイス公文学園高等部
Kumon Leysin Academy of Switzerland
■ 開校:1990年5月
■ 所在地: Route de Versmont 6, CH-1854 Leysin, Switzerland

私たちには「夢」があります。
教育を通じて世界平和に貢献することです。
私たちは、個人別教育による人材の育成を通じて、
その夢の実現に向かってまいります。

「Mission」と「Vision」、そしてそれらを実践するための行動指針となる「Value」。私たちはこの3つを共有することで、地球社会の一員として、子どもたちの成長と幸せに貢献していきます。

Mission

公文の理念

われわれは
個々の人間に与えられている可能性を発見し
その能力を最大限に伸ばすことにより
健全にして有能な人材の育成をはかり
地球社会に貢献する

Vision

世界のあらゆる国と地域で、
KUMONメソッドで学ぶ機会を提供し、
学習者が夢や目標に向かって
自分から学習している状態を目指す

KUMON

THINKING FACE。それは、教室で学び、考え、成長する子どもたちの顔であり、同時に、子どもたちのことを考え、成長し続けるＫＵＭＯＮの先生、社員の顔でもあります。「どうしたらこの子を伸ばしてあげられるか」ＫＵＭＯＮに関わるすべての人は、真剣に教育について考え、子どもたちに学び、ともに成長したいと願い、実践にうつしています。ＫＵＭＯＮブルーは、知性、誠実さ、そして世界につながる大空の色。世界が一つに結ばれ、子どもたちの未来が大きく広がるように、そして、教育について世界中の人がさらに真剣に考えるようになるという願いも託しています。

Value

THE KUMON WAY

わたしたちが大切にするもの

わたしたちが一番大切にするもの、それは「子どもたち一人ひとり」です。

「すべての公文式学習がその子の成長と将来に向け必ず役に立つ学習経験であること」
「ひとりでも多くの子どもたちに公文式で学ぶ機会を提供すること」
わたしたちは、この二つを
常に、心の真ん中に置いてすべての活動に臨みます。
それは公文式が存在し発展する唯一の「理由」であり子どもたちへの「責任」でもあると思います。
もし、道の途中で迷ったり意見が分かれても
「本当にこれが子どもたちのためになるのだろうか」
必ずそう自分に問いかけ、互いに進むべき方向を確認し合いながら
もっとこの教育法の価値を高め
ひとりでも多くの子どもたちに公文式で学んでもらうために
全力で取り組みます。

次に大切にするもの、それは「志を同じくし共に歩む人たち」です。

わたしたちは、
公文式教室の先生方をはじめ
「子どもたちを大切に想い、共に教育を通じて社会貢献に携わっていただける人たち」
そのすべての人に対して最大の敬意をはらいます。
そして心からの感謝と親しみを持ち、
「全力の支援」と「一体となった活動」を
大切にします。

次に大切にするもの、それは「すべての社員」です。

わたしたちはすべての社員が安心できる生活を保証され、適切な処遇を受けながら
使命感とやりがいを持っていきいきと仕事に取り組み、日々成長していけるような
風土と環境作りに努力することを大切にします。

次に大切にするもの、それは「地域社会との関わり」です。

わたしたちは日々生活し活動する地域社会に感謝し
よき「企業市民」として
自然環境や資源の保護あるいは地域教育や文化の向上など
より良い地域社会を創りあげるための、様々な活動に積極的に参加し
この地球社会全体への義務と責任を果たしていくことを
大切にします。

そして最後に、わたしたちは、以下の三つを心に刻み、どんなときも大切にして行動します。

1）自らの言動に対して「これは公正かつ道義にかなったものであるか」を常に問いかけ、
　社会人として正々堂々と胸を張れる人間であることを誓います。
2）教育に携わる者の「誇り」と「信念」を持ち、常に「素直に喜び感動できる」人間であるよう努力します。
3）常に「謙虚な姿勢」を持ち、昨日よりは今日、今日よりは明日と、「日々成長し続ける」人間であるよう努力します。

公文教育研究会

KUMON
会社案内動画

広報部広報チーム　24-08　EIN
© Kumon Institute of Education